

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成

＜本年度の学力向上策＞

- 1 学力向上の基盤をつくる落ち着いた学校生活の確立
 - (1) 教職員が共通行動を行う体制づくり
 - (2) 欠席人数の1割減
 - (3) チャイム始業・チャイム終業の徹底
 - (4) やさしくなかよく落ち着いた雰囲気をつくる給食指導
 - (5) 本の貸し出し冊数の1割増
- 2 個に応じた学習指導
 - (1) 児童の「やりたい」という気持ちを大切に学習指導と支援教室の開設
 - (2) 児童が自己決定できる場面を取り入れた授業改善
 - (3) 算数のコース別学習の実施（3年生以上）
- 3 アクティブ・ラーニングの基盤となる人間関係づくり
 - (1) 心と生活のアンケートの計画的な実施と迅速な対応、面談期間の設定
 - (2) いじめ、悪口、トラブルの5割減
- 4 学力向上の基盤となるたくましい体の育成
 - (1) ロング昼休みの外遊びの奨励
 - (2) 業間体育の実施

＜本年度の振り返り＞

- 1 学力向上の基盤をつくる落ち着いた学校生活の確立に努めたところ、欠席者数は昨年度比およそ50%減、本の貸し出し冊数は2倍以上となり、いわゆる学級崩壊はなかった。来年度はさらに規範意識の向上を課題として取り組んでいく。
- 2 児童のおよそ98%は日々の授業に満足している。しかし保護者は、さらに個に応じた指導を求めているため、個に応じた指導体制をさらに充実させていきたい。
- 3 どの学年でも人間関係づくりが効果的に進み、児童のおよそ95%は学校生活に満足している。また、悪口・トラブルが減り、いじめの件数は昨年度8件から2件へと減少した。次年度は、授業の内容をさらに充実できるように取り組んでいきたい。
- 4 体育朝会や業間休みの取組により、保護者のおよそ97%が体力向上の取組に満足している。しかし、高学年になると外遊びをする児童が減少するため、高学年の児童も外遊びや運動を楽しめる環境づくりや家庭との連携に取り組んでいきたい。

